

THD2000Z ユーザフレンドリ機能について

THD2000Zには、ユーザの使いやすさを向上する様々な機能を搭載しています。
本資料では、これらの機能についてご紹介させていただきます。

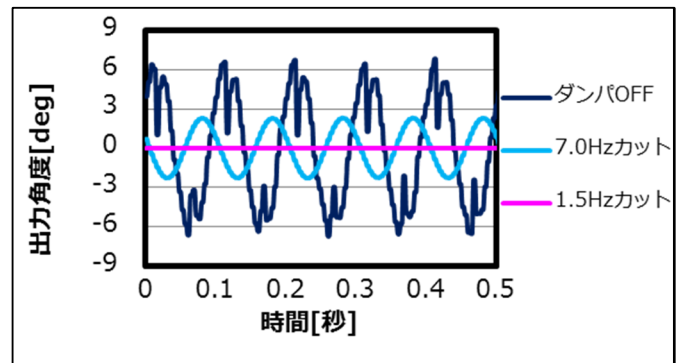
機能① 選択式デジタルダンパ

◆傾斜計測と振動

THD2000Zは、傾斜計測に最適なデジタルフィルタを実装しており、周波数応答性を16段の中から選択可能です。これにより、使用環境に合わせた最適なダンパ時定数を選択することで、実際の傾斜角度に近い出力が得られます。

従来の傾斜計では、使用環境の振動ノイズと必要な応答性に合わせてカットオフ周波数を設定し、電気的なローパスフィルタやダンピング機構の設計が必要でした。

本傾斜計では、デジタルフィルタの採用により、ユーザ様で最適なダンパ時定数を選択頂けるようにしました。



- ・ダンパ設定レベルに対する、カットオフ周波数と時定数は下記の表の通りです。
- ・実際にお使いの動作速度や振動環境によって、最適なダンパ時定数を選択頂けます。

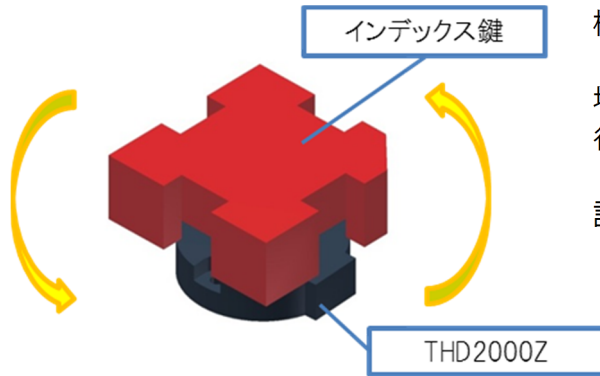
表記	レベル	カットオフ周波数	時定数
0	0	11.2Hz	60ms
1	1	9.27Hz	114ms
2	2	7.65Hz	126ms
3	3	6.32Hz	140ms
4	4	5.21Hz	156ms
5	5	4.30Hz	181ms
6	6	3.55Hz	205ms
7	7	2.93Hz	246ms
8	8	2.42Hz	277ms
9	9	2.00Hz	321ms
A	10	1.65Hz	378ms
B	11	1.36Hz	443ms(標準)
C	12	1.21Hz	532ms
D	13	0.92Hz	627ms
E	14	0.76Hz	749ms
F	15	0.62Hz	900ms

注意:ダンパ時定数は、弊社出荷後の変更はできません。選定方法については、弊社までお問い合わせ下さい。

機能② インデックス設定鍵【オプション】

◆出力基準位置 0°の再設定

THD2000Z は、コマンド制御で 0° の出力位置をわずか 10 秒程度で再設定することが可能です。更に『インデックス鍵』により、面倒な電気接続も無しに、現場で簡単に現在位置を傾斜角 0° に再設定することもできます。



従来現場では取付機器に合わせて、設置時に 0° 合わせを機械的調整機構や受け側でオフセット処理を行っていました。

本傾斜計では、RS485 のシリアル通信コマンド機能を利用し、現場での面倒な 0° の出力位置を±5° の範囲で再設定が簡単に行えます。

設定方法

インデックス鍵を CCW 方向に 90° 回転させてタッチ×5 回

注意 1)オプション機能のため、ご注文時にご指定下さい。

2)インデックス鍵は別売りとなります。

設定方法については、弊社までお問い合わせ下さい。

機能③ シリアル通信【オプション】

◆シリアル通信仕様

THD2000Z は、アナログ出力タイプと RS485 通信によるシリアル出力タイプをラインナップしました。シリアル出力タイプは、アナログ出力タイプよりも高精度、高分解能で傾斜角度の計測が可能です。また、RS485 からのシリアル通信コマンドにより以下の機能を使用できます。

No.

1. 傾斜角測定値の取得
2. シリアルナンバーの取得
3. 基準位置の再設定(0° 位置変更)
4. 通信速度(ボーレート)の変更
5. シリアルデータ出力の送信レートの変更

注意

- 1)シリアル通信機能は、シリアル出力のみに対応しています。
- 2)No.3～5 はオプションのため、ご注文時にご指定下さい。
- 3)通信仕様の詳細は、弊社までお問い合わせ下さい。



株式会社 緑 測 器

MIDORI PRECISIONS CO.,LTD.

<http://www.midori.co.jp>

sales@midori.co.jp

お問い合わせ

東京営業所
大阪営業所
U S A

東京都羽村市神明台 3-2-8 TEL.(042)554-5900 FAX.(042)554-5901
大阪市西区南堀江 1-11-1 TEL.(06)6538-2626 FAX.(06)6538-2376
MIDORI AMERICA CORP.
17900 Skypark Cir, Suite 104, Irvine, CA 92614, USA
URL <http://www.midoriamerica.com>